

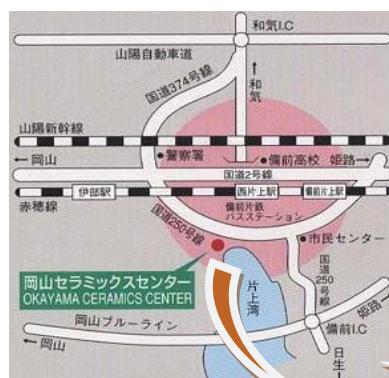
# 令和7年度 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 研究報告会 —ご案内—

令和7年度における研究成果報告会を次のとおり開催しますので、地域企業の方々、ご関係の方々に多数ご参加いただきたくご案内します。また、今年度、新規導入する装置の見学会も報告会の最後に予定しておりますので、併せてご参加いただきたくご案内します。

- 開催日時：令和8年3月25日(水) 10:30~12:00
- 会場：岡山セラミックスセンター セミナー室  
(備前市西片上1406-18 TEL 0869-64-0505)
- 定員：50名
- 参加費：無料
- 申込方法：別紙の様式により、令和8年3月18日(水)までにメールまたはFAX(0869-63-0227)にてお申込み下さい。
- 申込先：(一財)岡山セラミックス技術振興財団 備前市西片上1406-18 担当 佐藤  
TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227 Mail：[csato@optic.or.jp](mailto:csato@optic.or.jp)
- その他：
  - ★申込み後、ご欠席となった場合には、代理の方のご出席をお願いすると共に事務局にご一報ください。
  - ★参加申込書にご記入いただいた情報は、事業運営上必要な範囲に限り、適切に使用させていただきます。

## ■ 会場案内図

・JR赤穂線で45分  
西片上駅下車徒歩約8分  
・岡山市内から車で約1時間



■ プ ロ グ ラ ム

各テーマ 発表 15 分(質疑応答含む)

時 間	内 容
10:30-10:35	<b>1. 開会あいさつ</b> (一財)岡山セラミックス技術振興財団 研究所所長 平 初 雄
10:35-10:50	<b>2. アルミナ-シリカ系れんがの水素暴露におけるれんがサイズの影響</b> (一財)岡山セラミックス技術振興財団 主席研究員 前田朋之 並型れんがサイズを 100%水素雰囲気中で熱処理可能な炉を導入した。今後、水素暴露後のれんがの各種特性を評価するにあたり、れんが内部と外部とで水素暴露の程度に差が生じるか否かについて調査した結果について報告する。
10:50-11:05	<b>3. 水素ガスによる耐火原料の暴露試験</b> (一財)岡山セラミックス技術振興財団 主席研究員 前田朋之 純度の異なる SiC 原料を 1300°C、4h、100%H <sub>2</sub> 雰囲気中で熱処理し、SiC と水素との反応性および不純物の影響を調査し、SiC と水素との反応性を詳細に検討するため Si と C についても同様な試験を行った結果を報告する。
11:05-11:20	<b>4. 炭素前駆体から得られた炭素の耐水素暴露性</b> (一財)岡山セラミックス技術振興財団 主席研究員 前田朋之 鱗状黒鉛とカーボンブラックは結晶性の有無という大きな差があるものの、水素との反応性はほぼ同等であった。これを詳細に検討するためにフェノールから得られた炭素(非結晶性)およびピッチから得られた炭素(結晶性)をそれぞれ水素雰囲気中で熱処理し、耐水素暴露性を調査した結果を報告する。
11:20-11:35	<b>5. パーマれんがの損傷における水素ガスの影響</b> (一財)岡山セラミックス技術振興財団 主席研究員 前田朋之 これまで、100%CO 雰囲気中でパーマれんがの損傷について評価してきた。本年度は、アルミナ-シリカ系パーマれんがを 500°C、4 時間、80%CO-20%H <sub>2</sub> 雰囲気で熱処理し、パーマれんがの損傷における水素の影響について調査した結果を報告する。
11:35-12:00	<b>6. 今年度新規導入装置および関連装置の見学会</b> 水素雰囲気炉システム 主席研究員 前田朋之 研究員 稲田隼之 酸素・窒素・水素分析装置 主任技師 馬場直樹
12:00-	閉 会

令和7年度 (一財) 岡山セラミックス技術振興財団  
研究報告会 参加申込書

令和 年 月 日

会社名	申込担当者
TEL	FAX

案内のあった報告会に次のとおり参加を申し込みます。

No	参加者名	所属/役職	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			